

和太鼓の魅力(響き・轟き・余韻)を引き出すたたき方

- バチ 桴は軽く握り、腕の力を抜きます。
桴が鼓面に当たる瞬間手首の返しをきかせ、
桴と鼓面が触れる時間を短くします。(点で打つ)
それは桴が鼓面を抑えて振動を止めないため、素早く打つと太鼓の音は響きます。
それに反してベタ打ち(桴が鼓面に対して水平に長い部分で当たる状態)は、
響きを止めてしまい、鼓面の傷みの原因にもなります。
桴を引く時は、打った位置からそのまま真上に引きます。
- 打つ時と引く時の呼吸で強弱をつけ、太鼓のリズムをつけます。
打った力と同じ力・同じ速さで桴を引くと、音が良くなり、太鼓の傷みも少なくなります。
- 太鼓の革には弾性があり、太鼓を打った時、強い力で桴をはね返します。
その弾みをうまく使って、手首を返します。
- 打ち手の目線は桴先や鼓面を見ると良いでしょう。
- 太鼓はたたくという小手先の行為でなく、気持ちを込めて打つことによって、
良い音質が得られます。
- 尚、打ち方には地域独特のたたき方や、曲によるいろいろな打奏がありますが、
鼓面に対して斜めに打つ殴り打ちや、鼓面を桴でこすることは
革の繊維を傷つけ、破れやすくしますのでご注意ください。

各種太鼓製造販売
株式会社 柳澤臣太郎商店
代表取締役 柳 澤 尚 宣
〒436-0047 静岡県掛川市長谷316
TEL:0537-22-2444 FAX:0537-22-2614